

令和7年度第3回総合計画審議会

日時 令和7年9月11日(木) 18:30~

会場 役場会議室7・8

参加者： 貫田会長、廣江副会長、岩野委員、小池委員、白銀委員、鈴木(昭)委員、
鈴木(昇)委員、高橋委員、西村委員、花岡委員、林委員

欠席者： 太田副会長、蘆田委員、小林委員、谷口委員

①公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展

・評価について

全員C評価

評価 C

・今後の取組について

委員

成果指標について

基本目標、政策名からいくと成果指標が上がるのは矛盾するのではないか。病院の役割を考えるとこの成果指標では心もとない。成果指標に町民の健康を維持するということについて病院がどうかかわるかということをするといいいのではないか。

石田事務長

入院・外来が増えるのは病院の経営ではいいこと。病院はその他にも健診在宅医療にも力を入れている。次期総計の際には指標を工夫したい。

委員

在宅医療、看護、などを広報している。病院まつりで身近に感じてもらうということを行っている。安心できるという声を聞くので、そういったものを、成果指標に盛り込んで欲しい。

②学校教育の充実

・評価について

C：1 D：9

評価 D

・今後の取組について

なし

③地域で支え合う福祉社会の実現

- ・評価について

C : 2 D : 7

評価 D

- ・今後の取組について

委員

町内会の活性化は役場全体で取り組まないとならない。町内の3・4年生は副読本で地域の勉強をしているが、地域共同体についてどの程度取り上げているのか。子どもの意識が変わることと親の意識も変わる。学校教育で取り扱ってもらいたい。今、取り組まないと永遠に実現できないと思う。子どもたちにも教えてもらいたい。

④社会教育の推進

- ・評価について

全員C評価

評価 C

- ・今後の取組について

委員

学習について歴史、郷土史に取り組んだ方がいいと考えている。
郷土愛を育む、国際交流にもつながる。歴史館・図書館を活用して企画展など歴史を学ぶ場をつくるといいと思います。

江崎課長

社会教育施設を活用して積極的に進めたい。

委員

子ども会の衰退。地域で子どもを育てることが芽室町では無くなって子どもたちは生活している。対象にならない子どもたちに向けてイベントをすることを経験できる場を作ってもらいたい。

江崎課長

いろいろ活動を行っている。コミスク、ジモト大学事業を拡充しながら進めていきたい。子どもたちにいろいろ経験を積んでもらうようにしたい。

⑤地域文化の振興

- ・評価について
全員C評価

評価 C

- ・今後の取組について
なし

⑥スポーツしやすい環境づくり

- ・評価について
全員C評価

評価 C

- ・今後の取組について
なし

⑦暮らしの安全・安心の確保

- ・評価について
委員

事故など件数を教えてほしい。

速水係長

令和6年	交通死亡事故	2件	事故件数	20件
令和5年	交通死亡事故	2件	事故件数	23件

犯罪件数は公表されていない。

齋藤参事

過去10年の大きく増減はしていない。死亡は0から1程度。傾向としては、物損が芽室交番で多い。啓発を行っていかなくてはならない。

委員

事故の発生場所は国道が多いか。

齋藤参事

国道もそうだが、十勝型事故と呼ばれる農村部でも起きている。

全員D評価

評価 D

- ・今後の取組について
なし

⑧地域内経済循環の推進と商工業の振興

- ・評価について
全員C評価

評価 C

- ・今後の取組について

委員

Mカードをどう利用するか。地域通貨での活性化という地域もある。チャレンジデーの参加や、町内ボランティアの参加でポイント付与することで活性化できるのではないか？

西田課長

現在、徐々に進めている。行政連携、福祉、移住定住、健康ポイントなど年代層、種類広く進めていきたい。

委員

買い物弱者について、老人集まるところに出前してくれる人もいる。足腰が悪いので歩けない。例えばタクシーを無料で使えて、商店街が一堂に介して商品を売るなど、高齢者対策を行うのも商店街活性化対策だと思う。

⑨災害に強いまちづくりの推進

- ・評価について
全員C評価

評価 C

- ・今後の取組について

委員

災害になった時に高齢者がどう移動するか教えていただきたい。

佐々木課長

支援が必要な方に対しては名簿で管理している。併せて町内会にも配っており、連

携っていきたい。場合によっては、役場職員が個別に連絡をとって安否確認をする。

委員

訓練をおこなう必要があるのではないか。実際の時役立てることが可能なのか。東日本大震災の際は、全くそんな支援をする暇もなかったと聞いている。今のままなら作っていても役立つのかなと思う。

佐々木課長

いろいろケースの訓練をしている。今後の訓練の内容として検討したい。個別計画も作っていただいている。有事の際に誰が助けに行くのかというものだが充分に進んでいない。訓練も特定のエリア、町内会を対象にするなど検討していききたい。

⑩国際・地域間交流の推進

- ・評価について
全員C評価

評価 C

- ・今後の取組について
なし

⑪地域資源を活用した観光の振興

- ・評価について
全員E評価

評価 E

- ・今後の取組について

委員

指定管理になってもいまの施設ではプラスにならないと思う。
早急にハード整備が必要で、立て直しの急務になると思っている。

中村参事

施設の老朽化は課題。今年度は宿舍の解体の設計をしている。
ロッジ、リフトの概算費用を積算している。実施設計を行って2～3年間かかっていく。これから基本計画を皆さんにお示しする。

委員

ハード整備しないと評価は変わらないので整備を進めてもらいたい。

委員

一向に動きが無い様に見える。先の見えないことばかりやっている。

もう少しやったらどうかとおもう。計画性のあることを伝え、理事者に刺激を与えないとならない。シビアに動いてほしい。芽室町以外の周辺の人からも早くやってもらいたいという声が多い。

委員

シヨベルが放置してあり、駐車場は草が生い茂っている。これから再生する場所なのだろうが、廃墟にしか見えない。トイレが無いからイベントもできない。

ロッジ周辺も草刈りをしているのは分かるが、もうちょっと草刈りなどの管理を広げてもらいたい。嵐山を使ってイベントをやりたいという声もあるので、見た目を整えてもらいたい。

⑫シティプロモーションの推進

・評価について

委員

すまいるアンケートとは何か。

大石係長

広報広聴係でとっているものである。

委員

数値について、私たちが思っているよりだいぶ低い気がする。

数値がわかりづらい。

委員

質問の意図が理解されていないのではないか？

委員

町内会が衰退していくのは自分本位のことで評価とリンクする。

全員D評価

評価 D

・今後の取組について

委員

成果指標の設問の仕方を考えてもらいたい。町民も理解していないのではないか。

有澤課長

次期計画のタイミングで行いたい。

○全体をとおして

委員

話に多く出る、町内会の加入率は。

我妻課長

48%程である。

委員

10年以内に30%になっていくと予想している。

ごみステーションのことなど、いろいろな課に影響が出ている。

委員

町内会に向けてどのような施策をしているか。

我妻課長

町は事務局ではないので、補助金を増額して町内会の支援をおこなっている。

子ども会、デジタル化の支援を行っている。

委員

個々に習い事があるので、子ども会の衰退はしょうがないかと。

町内会が嫌であれば、ゴミ管理をみんなでやるなど考えていかななくてはならない。

委員

準会員制度などで、ごみや、防災情報について協賛金をいただくという町内会もある。

子供の件については、『スーパーで子どもが地団太を踏んでいても、温かく見守ってくれるような人を増やしてく』という記載が前回会議の施策資料などであったが、叱る、褒めるということも大切で、そういった意識醸成は必要ではないか。